

## 平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年1月30日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ヤギ  
 コード番号 7460 URL <http://www.yaginet.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 八木 隆夫  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 管理部門長 (氏名) 中西 猛士  
 四半期報告書提出予定日 平成29年2月14日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

TEL 06-6266-7332

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成29年3月期第3四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	85,642	△1.2	2,343	△7.2	2,234	△16.7	1,730	△9.5
28年3月期第3四半期	86,664	0.3	2,524	△4.5	2,683	△16.2	1,911	△6.7

(注) 包括利益 29年3月期第3四半期 2,554百万円 (45.7%) 28年3月期第3四半期 1,753百万円 (△43.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第3四半期	206.00	—
28年3月期第3四半期	227.62	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第3四半期	60,971	32,709	53.6
28年3月期	61,298	30,523	49.8

(参考) 自己資本 29年3月期第3四半期 32,704百万円 28年3月期 30,518百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	45.00	45.00
29年3月期	—	0.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	45.00	45.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	111,000	△4.1	2,600	△7.7	2,500	△16.2	1,500	△24.1	178.60

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有  
詳細は、添付資料P. 4「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P. 4「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご参照ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期3Q	10,568,000 株	28年3月期	10,568,000 株
29年3月期3Q	2,169,512 株	28年3月期	2,169,348 株
29年3月期3Q	8,398,587 株	28年3月期3Q	8,398,702 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続を実施中でありませ

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項は、【添付資料】P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
2. 四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表規則」に従い作成しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府・日銀による経済・金融政策の効果もあり、一定の雇用・所得改善が見られたものの、米国新政権による経済政策への思惑や中国をはじめとする新興国・資源国の景気減速など、先行きの不透明な世界経済を反映し、個人消費マインドは力強さに欠ける展開となりました。繊維業界におきましても、消費者の節約志向や低価格帯品へのシフトが顕著となり、夏季の天候不順や、新興国の景気減速に伴うインバウンド需要の下振れも重なったことから、一部の高付加価値品を除いて総じて低調に推移しました。

このような状況の下、当社グループでは中期経営計画「Value Innovation 123」の最終年度にあたり、重点施策である「中核事業の高収益化」「海外事業の拡大・新規事業の強化」「経営管理体制の高度化」を図っており、差別化商材の供給力強化と優良取引先との取り組み深耕に注力しました。繊維二次製品分野の拡大を図るAGP（アセアン・ゲートウェイ・プロジェクト）は、YAGI&CO., (H. K.) LTD. を基点とする第一段階を終え、本年度から「AGP開発室」として当社営業部門に移し、より顧客ニーズを取り入れやすい体制としました。アセアンで原料と素材に独自性を持たせ繊維二次製品までの一貫モデルを構築するATC（アセアン・テキスタイル・コンバーティング）にも着実に取り組みました。さらに組織を横断した「ODM PROJECT TEAM」「TEX EXPORT PROJECT TEAM」が、欧州の素材・縫製を活用した製品の国内提案や、欧米での顧客獲得に向けた海外の展示会に参加するなど、積極的な活動を展開しました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は85,642百万円（前年同期比1.2%減）、営業利益は2,343百万円（前年同期比7.2%減）、経常利益は2,234百万円（前年同期比16.7%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,730百万円（前年同期比9.5%減）となりました。

なお、事業セグメント別の売上高の状況は、以下のとおりであります。

セグメントの名称	前第3四半期累計期間 平成28年3月期 百万円	当第3四半期累計期間 平成29年3月期 百万円	増減率 %
繊維セグメント			
原料分野	15,785	13,474	△14.6
テキスタイル分野	10,869	10,470	△3.7
繊維二次製品分野	56,601	57,962	2.4
その他	3,091	3,427	10.9
繊維セグメント 合計	86,347	85,335	△1.2
不動産セグメント	317	307	△3.1
合計	86,664	85,642	△1.2

(2) 財政状態に関する説明

①流動資産

当第3四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、前連結会計年度末に比べ542百万円減少し、46,353百万円となりました。これは、たな卸資産が減少したことが主な要因であります。

②固定資産

当第3四半期連結会計期間末における固定資産の残高は、前連結会計年度末に比べ216百万円増加し、14,618百万円となりました。これは、有形固定資産が増加したことが主な要因であります。

③流動負債

当第3四半期連結会計期間末における流動負債の残高は、前連結会計年度末に比べ1,162百万円減少し、20,280百万円となりました。これは、為替予約（その他の流動負債）が減少したことが主な要因であります。

④固定負債

当第3四半期連結会計期間末における固定負債の残高は、前連結会計年度末に比べ1,350百万円減少し、7,981百万円となりました。これは、長期借入金が増加したことが主な要因であります。

⑤純資産

当第3四半期連結会計期間末における純資産の残高は、前連結会計年度末に比べ2,186百万円増加し、32,709百万円となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益が1,730百万円計上されたことが主な要因であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結の業績予想に関しましては、当第3四半期連結累計期間における業績の進捗状況を勘案し、平成28年7月29日に公表しました予想数値に対して、以下のとおり修正いたします。

通期の連結業績予想数値の修正(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想 (A)	121,000	2,800	3,100	2,100	250円04銭
今回修正予想 (B)	111,000	2,600	2,500	1,500	178円60銭
増減額(B-A)	△10,000	△200	△600	△600	—
増減率(%)	△8.3%	△7.1%	△19.4%	△28.6%	—
(ご参考)前期実績 (平成28年3月期)	115,695	2,815	2,983	1,975	235円24銭

当第3四半期連結累計期間の期初から低調でありました原料分野において販売が落ち込み、回復が想定以上の遅れとなっており、在庫の精査を行った結果、圧縮を進めることとしました。

繊維二次製品分野におきましても、重衣料をはじめとして秋冬物が総じて販売不振となり、また秋以降の円安傾向のなか海外での人件費や原材料費の高騰により輸入コストが上昇しましたが、販売価格に転嫁することが思うようにできず、利益を圧迫する結果となりました。

このような状況から、平成28年7月29日に発表しました連結業績予想を修正いたします。

なお、業績予想につきましては、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提にもとづいており、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

### （1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### （2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

### （3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

（平成28年税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用）

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 平成28年6月17日）を第1四半期連結会計期間から適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、当該変更による、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,221,011	3,842,331
受取手形及び売掛金	28,945,153	28,350,765
電子記録債権	4,363,908	5,645,081
有価証券	10,002	-
たな卸資産	7,697,602	6,585,151
繰延税金資産	906,245	567,002
その他	1,930,729	1,552,194
貸倒引当金	△178,411	△188,879
流動資産合計	46,896,242	46,353,647
固定資産		
有形固定資産	4,375,450	4,828,530
無形固定資産		
のれん	896,662	704,520
その他	26,287	30,992
無形固定資産合計	922,949	735,512
投資その他の資産		
投資有価証券	6,992,042	6,135,452
その他	3,094,342	4,571,395
貸倒引当金	△982,719	△1,652,586
投資その他の資産合計	9,103,665	9,054,261
固定資産合計	14,402,065	14,618,305
資産合計	61,298,307	60,971,952
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,255,186	10,083,604
電子記録債務	1,856,436	1,664,414
短期借入金	3,086,878	3,167,345
1年内返済予定の長期借入金	-	25,704
未払法人税等	640,965	326,371
賞与引当金	433,552	348,817
その他の引当金	179,590	157,400
その他	4,990,752	4,507,053
流動負債合計	21,443,360	20,280,709
固定負債		
長期借入金	6,341,444	4,802,888
繰延税金負債	689,278	758,875
引当金	47,237	-
退職給付に係る負債	940,831	1,002,306
その他	1,313,030	1,417,745
固定負債合計	9,331,822	7,981,815
負債合計	30,775,183	28,262,525

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,088,000	1,088,000
資本剰余金	805,188	805,188
利益剰余金	28,774,840	30,137,017
自己株式	△1,629,605	△1,629,838
株主資本合計	29,038,423	30,400,367
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,797,926	1,829,739
繰延ヘッジ損益	△380,990	461,003
為替換算調整勘定	31,741	△17,017
退職給付に係る調整累計額	31,426	30,595
その他の包括利益累計額合計	1,480,104	2,304,321
非支配株主持分	4,596	4,737
純資産合計	30,523,124	32,709,427
負債純資産合計	61,298,307	60,971,952

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
売上高	86,664,908	85,642,323
売上原価	75,700,429	73,890,514
売上総利益	10,964,479	11,751,809
販売費及び一般管理費	8,439,884	9,407,834
営業利益	2,524,595	2,343,975
営業外収益		
受取利息	16,030	19,286
受取配当金	135,641	159,831
持分法による投資利益	63,801	-
為替差益	31,511	-
その他	62,759	57,733
営業外収益合計	309,744	236,852
営業外費用		
支払利息	41,102	39,680
売上割引	15,921	18,375
貸倒引当金繰入額	66,029	78,831
為替差損	-	177,114
その他	28,201	32,475
営業外費用合計	151,255	346,478
経常利益	2,683,083	2,234,348
特別利益		
投資有価証券売却益	205,010	704,006
関係会社清算益	23,705	-
特別利益合計	228,715	704,006
特別損失		
関係会社出資金売却損	-	12,340
関係会社出資金評価損	-	196,022
貸倒引当金繰入額	-	87,093
特別損失合計	-	295,456
税金等調整前四半期純利益	2,911,799	2,642,899
法人税等	1,000,017	912,652
四半期純利益	1,911,782	1,730,246
非支配株主に帰属する四半期純利益	34	130
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,911,748	1,730,116

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)
四半期純利益	1,911,782	1,730,246
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	36,645	31,824
繰延ヘッジ損益	△242,150	841,993
為替換算調整勘定	△1,061	△48,758
退職給付に係る調整額	47,973	△830
その他の包括利益合計	△158,593	824,229
四半期包括利益	1,753,188	2,554,476
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,753,154	2,554,334
非支配株主に係る四半期包括利益	34	141

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。